

流山市議会 I C T 推進基本計画

〔計画期間：令和 7 年 4 月 1 日－令和 11 年 3 月 31 日〕

第 1 章 総 論

1 【計画策定の背景】

本市議会では平成 21 年 3 月に、「市民に開かれた市議会」の実現に向けて、流山市議会基本条例が全会一致で可決され、同年 4 月 1 日施行された。それを受けて、同年 10 月には「市民に開かれた市議会」の実現に向けて、更なる情報発信と情報通信技術（I C T）の推進を求める決議（別添のとおり）を全会一致で可決した。この決議文について具体的に事業を推進するため、このたび流山市議会 I C T 推進基本計画を策定するものとする。

2 【計画策定の目的】

本市議会は、民主主義の過程（プロセス）に市民が、より深くかかわる機会を得るために、「市民に開かれた市議会」のなお一層の実現に向けた有効手段のひとつとして、I C T 技術の積極的活用を推進する。

第 2 章 基本フレーム

1 【基本的な考え方】

議会および議員活動の積極的展開と事務の合理化・効率化を推進すると共に市民との意見交換などを積極的に活用し、議会のオープン化を実現するものとする。

よって、流山市議会 I C T 推進基本計画は、以下の 4 点を基本事項とする。

- （1）最新の議会情報を、分かり易く提供する。
- （2）議会への住民の参加機会の拡大と関心の向上を図る。
- （3）議会活動の積極的展開を図る。
- （4）事務の合理化・効率化を進める。

第 3 章 事 業 の 展 開

1 【個別の実施計画について】

基本フレームを実施するにあたり、「流山市議会 I C T 推進基本計画に基づく実施計画一覧」を作成し実施することとする。実施計画は、以下の 6 分野に基づき策定するものとする。

- （1）市民との情報共有の拡充
- （2）市民参加による議会運営
- （3）分かり易い会議の実現
- （4）議員の情報活用能力及び活用環境の向上
- （5）ペーパーレスの促進
- （6）必要となる I C T 基盤の整備

2 【財源措置】

予算の伴う計画については、流山市議会基本条例第 12 条の規定に基づき、議会が主体的に協議し、議会費として要望する。

3 【計画の見直し】

- （1）流山市議会 I C T 基本計画は 4 年ごとに見直すものとする。
- （2）流山市議会 I C T 推進基本計画に基づく実施計画一覧については、2 年ごとに見直すものとする。

改定履歴

策 定：平成30年

見直し：令和3年、令和6年

「市民に開かれた市議会」の実現に向けて、更なる情報発信と
情報通信技術（ＩＣＴ）の推進を求める決議

「市民に開かれた議会」には、二元代表制の一翼を担う議会として「市民との情報共有」、「市民への説明責任」が課題であり、「公開性・公平性・信頼性」等、民主主義の基本的価値の実現が求められる。特に透明性を実現するためには、その活動が市民の目に見えるものでなければならない。

平成２１年３月定例会において、全会一致で可決され、平成２１年４月１日から施行している流山市議会基本条例は、当市議会の運営における規範的事項を定めており、その前文には「積極的な情報公開を率先して行い、より一層、市民に開かれた議会を実現しなければならない。また、議会は市民の多様な意見を的確に把握することに日々努力し、常に市民との対話を行い、市民の声を汲み取りながら、議員間で自由闊達な討議を重ね、市民に信頼される議会運営に取り組まなければならない。」と、記載されている。

一方、近年各国の議会では、情報通信技術（Information and Communication Technology:以下、「ＩＣＴ」という。）を活用して、議会制度と民主主義に関する国民の理解を深めるため、国民に対する情報発信を積極的に実施している。この背景には、近年の政治不信、政治参加の低下は、有権者が議会の情報を十分に与えられていないことに大きく起因するものと考えられていることがある。

議会の過程（プロセス）を市民に明らかにし、議会情報への接続（アクセス）のしやすさ、透明性、説明責任（アカウンタビリティ）、市政への市民参加を推進し、民主主義の過程（プロセス）に市民が、より深くかかわる機会を得る手段としてＩＣＴを活用することは、議会と市民をつなぐ有効的な手段である。

よって、当市議会は「市民に開かれた市議会」のなお一層の実現を図るため、その第一段階として、議会から市民に向けての情報発信、議会活動・討議の活性化のため、具体的方法について積極的に協議し、平成２２年度中にその結果に基づき実施することを決意する。

以上、ここに決議する。

平成２１年１０月２日

千葉県流山市議会